

## 社会福祉学科 2年 後期 総合科目

1. 臨床美術の実践Ⅱ ※不開講
2. 情報処理Ⅱ
3. コミュニケーション論

## 社会福祉学科

2年

科目名: 情報処理Ⅱ				担当教員 氏名: 新田 雅道					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	総合科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンスを日常生活、仕事の場で使いこなすことができる基礎的素養を身に着けること。					統計基礎、データサイエンス、データの比較、データの集計、個人情報保護、情報漏洩				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短縮マトリックスで示される番号)						
A 知識・理解力			1. 2. 8.						
D 問題解決力			・データを読み解く力、説明する力、データを扱うための力を養う。 ・情報作成能力を身に付け、活用能力を高める。 ・データを利活用する際の留意事項に関する知識習得。						
C 論理的思考力									
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	20 %	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブ・ラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習、ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に毎回課題演習を行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
① ガイダンス:数理・データサイエンスを学ぶ事の意義				ビッグデータを活用したビジネス/サービス	【予習】30分 【復習】30分				
② 統計学の基礎知識(サンプリングと母集団)の理解				統計基礎の知識・スキル	【予習】30分 【復習】30分				
③ 統計学の基礎知識(正規分布)の理解				統計基礎の知識・スキル	【予習】30分 【復習】30分				
④ Excelによるデータ編集(入力、演算)の習得				Excelを活用したデータの処理	【予習】30分 【復習】30分				
⑤ Excelによるデータ編集(関数)の習得				Excel関数の活用	【予習】30分 【復習】30分				
⑥ Excelによるデータ分析(グラフ)の習得				Excelによるデータのグラフ化	【予習】30分 【復習】30分				
⑦ Excelを活用した将来予測の習得				分析ツールの利用	【予習】30分 【復習】30分				
⑧ Excelを活用した適正価格の推定の習得				分析ツールの利用	【予習】30分 【復習】30分				
使用テキスト: 「イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラル Office2016対応」(noa出版)、適宜資料を配付				その他参考文献など: 情報リテラシー(noa出版)					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習をすること。事前にデータを収集することがある。									

## 社会福祉学科

科目名： コミュニケーション論			担当教員 氏名： 経田 博子			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	総合科目	演習	選択	交流分析士2級受験資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			交流分析士・TAカウンセラー・産業カウンセラーとしての経験を生かして、自分の思考・感情・行動の癖に気づき、コミュニケーション時の選択肢を増やすこと等について教授する			
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
コミュニケーション心理学ともいわれる交流分析を学ぶ。人の心の在り様と、思考・感情・行動について分析し、活用方法を学修と演習から学ぶ。また、自分と他者のコミュニケーションパターンを理解し、交流の改善方法について学ぶ。					交流分析・交流パターン・ストローク・傾聴 ・人生の立場・心理ゲーム・時間の構造化 ・人生脚本	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力	交流分析の理論を理解し、ワークなどから自己理解を深める					
D 問題解決力	問題に気づき、いろいろな対処方法から「今ここで」必要な対応を理解する					
E 自己管理能力	自分の思考・感情・行動のパターンを理解し、自分の選択に責任を持つ					
F チームワーク・リーダーシップ	ワークショップ・グループワークを通じて、協調性や自分の役割を理解する					
H コミュニケーション力	交流分析の哲学を意識して、より良い人間関係を築く能力を養う					
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 80 %	レポート： 10 %	発表： %	実技試験： %	その他： 10 %		
特記事項： ・上記「その他」においては、授業中の態度、授業中の課題提出・TAシートの書き込み状況などで評価する ・本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 適宜小テストを行う。授業内で、グループワークの準備やまとめとしてのレポート提出を行う。最終試験は、別に定めた日時に実施する						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 適宜小テスト、レポート課題を行い、採点し個人のは返却する。グループとしてのレポート提出においては、返却はしない。						
授 業 計 画			準備学修(予習・復習等)			
			学修内容	学修に必要な時間(分)		
①コミュニケーションとは 自己紹介 自我状態 ストローク			【予習】自我状態・ストロークを読む		60分	
②ストロークの活用 価値を認める 人生の立場			【予習】人生の立場を読む		予習30分 復習30分	
③いろいろな見方 人生の立場 自分の事例・グループワーク			【予習】TAシートP29記入		予習60分 復習30分	
④OK・OKの思考・感情・行動 人生の立場 ディスカウント 小テスト			【予習】人生の立場を読む		予習30分 復習30分	
⑤心理ゲームとは ゲームの公式			【予習】心理ゲームを読む		予習30分 復習30分	
⑥自分がついついしてしまうこと ゲームの図式 代表的なゲーム			【予習・復習】心理ゲームを読む		予習30分 復習30分	
⑦嫌な感情の減らし方 ゲームをやめるには・グループワーク 小テスト			【予習】TAシートP35記入		予習60分 復習30分	
⑧ラケット感情 ストレスと感情 グループワーク			【予習】心理ゲーム・ラケット感情を読む		予習30分 復習30分	
⑨時間の構造化			【予習】時間の構造化を読む		予習30分 復習30分	
⑩充実した時間の過ごし方 時間の構造化 小テスト			【予習】TAシートP37記入		予習30分 復習30分	
⑪自分の物語 人生脚本とは 幼いころに決めたこと			【予習】人生脚本とはを読む		予習30分 復習30分	
⑫自分の中にある禁止令 小テスト			【予習】禁止令を読む		予習30分 復習30分	
⑬拮抗禁止令とドライバー プログラム			【予習】ドライバーまでを読む		予習30分 復習30分	
⑭ミニスクリプト 自分を止めるもの 許しを与える			【予習】ミニスクリプトまで読む		予習30分 復習30分	
⑮自立に向けて 自分がなりたい自分			【予習】TAシートP45記入		予習30分 復習30分	
使用テキスト： 日本交流分析協会発行 交流分析士2級テキスト・シート・エゴグラム 使用 (前期の人間関係論と同じテキスト)			その他参考文献など： 交流分析入門(チーム医療)			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 自分や自分の周りの人とより良い関わりができるように、自分を成長させていく貴重な時間です。テキストの理解と共にTAシートの記入など、自身を見直す時間を丁寧になさってください。 前期の「人間関係論」と後期の「コミュニケーション論」の両方で40時間以上受講した人には、2月ごろ実施のNPO法人日本交流分析協会認定「2級交流分析士」(登録商標)の受験資格が与えられます。						